

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	通所支援事業所 ほほえみ		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 1日		～ 令和7年 10月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	令和7年11月 1日		～ 令和7年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの支援に対する理解を深めながら、実践プログラムの作成を行うことができている。	日々の活動内容について、事前の打ち合わせや内容についての検討を行うことができている。 職員の視点だけでなく、子どもの気持や考えを尊重する中で自己選択、自己決定を行い、活動を展開できるように努めている。	子どもの発達や実践に関する研修の機会と内容理解を深め、より専門的な視点からの支援の実施を行っていきけるようにする。 活動を通して、より集团的視点を取り入れ、子ども同士の関りを広げられるようにしていきたい。
2	保護者の方と、子どもの様子についての把握や相談等に対する対応が行うことができている。	その日の子どもの様子だけではなく、日常的に子どもの家庭、学校での様子などを共有するようにし、子どもの姿を事業所内だけの姿として捉えないように努めている。また、子ども、保護者の情報を職員間で共有、検討することで支援の方向性を一致させていけるようにしている。	保護者の方へ特定の職員だけが対応するのではなく、事業所全体の職員が関係を構築できるように努める。 事業所内だけの共有や検討にとどめることなく、必要に応じて関係機関との連携や関係作りを行うようにする。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方との交流機会が少ない	地域の児童クラブ、こども園などは、交流の機会が少ない。もっと広がるように、活動を通じた地域の方との交流を増やせるような工夫を職員間で検討していきたい。	事業所としては、幅広い世代の方との交流の場や機会づくりを行うことで、放課後の場や取り組み、子どもたちのことを知ってもらえるようにしていきたい。
2	親子でのイベントや兄弟児向けの交流がない。	保護者や、事業所の時間の確保(調整)が難しい。また、兄弟児向けの活動など、保護者より意見等は現在ない。	事業所としては、親子活動や父親の親睦会、兄弟児交流など計画していきたい
3	ICT化に向けた取り組みが、行えていない現状がある。	ICTに対する取組は進めているものの、設備や事業所に合ったものがみつからないため、今後も取組が進めるための検討を行っていききたい。	ICTの活用に関する検討を進め、取り組みを前進させる。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ほほえみ
------	------

公表日 令和7年12月26日

利用児童数 40

回収数 37

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	2	0	0	・少し狭いが、外での活動もたくさん取り入れてもらっている。 ・確保されてると思います。	活動するスペースを有効に使えるように環境を整え確保に努めています。また状況に合わせて使い分けている。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28	2	0	0	・適切だと思います。	定められた人員配置を行い対応をしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	2	0	1	・大丈夫だと思います。	各部屋の使い方や荷物を置く場所など工夫しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	0	0	0	・大丈夫だと思います。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	0	0	0	・専門性のある支援かは私には分かりませんが、子どもが楽しく過ごしているの で受けられてると思います。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30	0	0	0	・大丈夫だと思います。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	0	0	1	・作成されていると思います。	引き続き、作成前に面談や児童表やニーズ票を記入してもらい、職員間で共有し支援計画を作成及び検討・修正を行っていきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	0	0	1	・大丈夫だと思います。	引き続き、保護者や児童のニーズを前提に、児童の状況や家庭環境に合わせて、職員間で支援内容について検討し計画を作成していきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	0	0	0	・行われていると思います。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	0	0	0	・いろいろな経験をしているので工夫されてると思います。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	19	7	0	1	・子どもも喜んでいる。 ・通いはじめたばかりなので、わかりません。 ・参加少なく少し分かりづらいです。	他の事業所や保育園との交流の機会を設けていますが、全員が参加できるような取り組みが不足しているので、機会を増やしていこうと思います。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	0	0	1	・ありました	引き続き、事業所の概要や各種説明を、オリエンテーションにて丁寧に伝えていきたいと思っています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	0	0	0	・ありました	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26	3	0	1	・個人面談、カンファにて聞いているので問題ないと思います。 ・参加はしていませんが、行われてると思います。	親子で参加できる機会を定期的に開催して、保護者同士が交流できる機会を増やしていきたいと思っています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	30	0	0	0	・出来てると思います。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	0	0	0	・ちゃんとされてると思います。 ・はげみになります。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	0	0	1	・支援されてると思います。	必要に応じて、保護者からの相談を受け付けて対応していきます。また、子どもの言動から見られる発達要求とは何かを保護者と共感できるように努めていきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	7	1	4	・参加はしてませんが、されてると思います。	現在、保護者交流会（ヨガ体験と交流会、懇親会）を行っています。周知徹底と、「きょうだい同士の交流の場」が必要と言う申し入れがあった場合には、意識した取り組みを行います。

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	0	0	1	・オリエンテーションにて説明を受けています。 ・対応されてると思います。	児童や保護者からの相談等、申し入れに対して迅速に対応できるように努めています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	0	0	0	・大丈夫だと思います。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25	4	0	1	・発信されてます。	引き続き、定期的なおたよりとLINEでの写真など、発信できるようにします。また、ホームページについては、オリエンテーションにて毎年確認するようにします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	0	0	0	・大丈夫だと思います。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	2	0	1	・訓練の時はお休みさせてもらったので、参加はしてませんが、実施されています。	各種マニュアルや、訓練等を引き続き行い、保護者に周知できるようにしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	1	0	0	・子どもから話を聞きます。 ・行われてます。	マニュアルを作成（見直し等）を行い、訓練等を引き続き行い、保護者に周知できるようにしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	1	0	0		安全計画を作成（見直し含め）職員間で共有を図っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	0	0	1	・事故やけがではありませんが、連絡は早いし説明もしっかりされてます。	引き続き、非常時や怪我等の対応に対して、保護者へ迅速に説明を行い対応していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30	0	0	0	・子どもはとても楽しみにしています。 ・通いはじめたときは不安だったみたいですが、今はなれて安心感でいっぱいです。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	3	0	0	・子どもはとても楽しみにしています ・本人に聞いたら普通といいますが、前日に「行く？」と聞くと、「絶対行く」と言うので楽しみにしてると思います。 ・とても楽しく行かせてもらってます。 ・居場所として大切な場所と思っています。	児童一人一人が、期待感をもって登園できるように活動の内容を検討し、質を高めていきたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	0	0	0	・いつも子どもたちにまた保護者によりそっていただき感謝しています。 ・満足してます。 ・心の支えです。理解してもらえることが頑張れます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ほほえみ		公表日 令和7年12月26日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	子どもが利用しやすいように、靴箱やロッカーなど名前を記入したり、写真付きのネームプレートを作っている。	※ケガで松葉杖を使用する際に、階段での上り下りが危険。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日の清掃を行い、清潔な空間にできるように努めている。子どもたちの遊びや活動によって、空間をかえている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		メインスペースを中心に、自由に使用できるような環境になっている。	※宿題や更衣室など、個室を使用するが鍵の改善が必要
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		子ども、保護者などに関する情報を職朝等の場で共有し、必要に応じた対応ができるようにしている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		毎年のアンケートを実施し、職員へ共有・公表を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		職朝やカンファレンス（実践前・実践後）、研修など、職員が提案、改善を行えるように努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		事業所内研修、他事業所との研修、市や県の外部研修など、職員が研修を受ける機会を確保している。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		支援プログラムの共有を行い、公表をしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		個別面談だけでなく、必要に応じた面談の機会を設けて作成しており、職員とも共有を行いながら作成を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		グループリーダーなど、関わる職員が中心となって、共通理解の下で、作成を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		必ずしも子どもが適応できるかどうかを評価基準としていない。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		保護者や子どものニーズを前提に、それぞれの子どもの状況や家庭の状況に合わせて、職員で支援内容について検討を行い、計画を作成している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		その日の活動のねらい、配慮事項を職員間で共有して取り組みを行っている。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	毎月の会議で、活動（実践）内容を検討しており、季節の行事と子どもの状況に合わせた内容にしている。また、子どもと話し合いながら、活動内容を決める時もある	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	集団活動の中で、個々の発達課題や特性に応じた、支援に努めている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	支援前に、子どもの状態の把握を行いながら、実践の内容に合った、役割分担を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	支援後は、必ず振り返りを行っている。また、記録している。（箇条書き）	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	子どもの実態、支援のポイント、子どもの変化など、場面に応じた記録を行い、今後の課題につながる内容を記録するように心がけている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	定期的にモニタリングを行い、実態を把握し、必要に応じて見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	子ども自身が活動を提案、選択できる機会をつくる工夫を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	その都度、相談支援員とは連絡を取り合っている。関係機関との会議は、担任の先生方の都合も調整しながら、連携を行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	関係機関との連携は、送迎時も含めて必要に応じて迅速に対応できるように、関係づくりに努めている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	小学校との連携は、必要に応じて迅速に対応できるように努めている。	※学校によっては、連携の時間を作るのが難しい場合もある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	児童発達支援事業所や相談支援員、こども園などから、事前に子どもの姿や情報把握を行うように連携会議を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	現在までに、移行した例がないが、そのような状況になった場合は、提供する	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		※地域の公園などでの交流やこども園との交流はある。様々な理由から他事業所の児童との交流の機会が少なくなっている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	協議会に参加している。また子ども部会では、事例検討を行う機会があった。しかし、職員への細やかな周知が出来ていなかった。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	日々のカンファレンス（集団・個別）で、状況を伝えあう機会があり、共通理解が出来ている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	市が開催するペアトレを各ご家庭に参加できるよう情報提供（案内）をしている。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	毎年開催する、オリエンテーションにて丁寧に説明している。しかし、よく理解していない方もいるので周知徹底を心がけたい。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		事前に、児童表やニーズ票にて把握し、子どもの支援についての提案や説明を保護者に行った上で、子どもへの支援を行うようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		毎回の利用後に、カンファレンス（集団・個別）において、子どもの姿の共有や保護者の相談に対応できるようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		親の会（保護者交流会）など定期的に開催し、保護者同士の交流や、ヨガ体験でリフレッシュする機会を設けている。	※兄弟どうしの交流の場は、作れていない状況がある。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		毎月のおたよりや、HP・SNS等を利用して、写真なども含めて情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		契約時に同意書にて、同意を得ている。取り扱いには十分注意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		現在の所、地域の方との交流はあるが、事業所にきて頂く機会があまりない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		※現在、該当する児童がいない。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハット事例は、職朝や職員会等で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		市の虐待研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			